

# よしかわ通信



りん どう  
凛 道



発行

高萩市議会議員

よし かわ どう りゅう  
吉川道隆

高萩市安良川686

TEL 0293-24-0833

FAX 0293-22-3340

ホームページ <http://www.douryu.net>

E-mail [info@douryu.net](mailto:info@douryu.net)

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

参議院選挙が終わり、前回の衆議院選挙で乗りに乗っていた民主党は、あっけなく議席を減らすこととなってしまいました。夢のようなマニフェストはやはり夢のまま・・現実はそのなにかはなかったということですね。子ども手当など、続けられるのなら理想的かもしれません。ただ、今の日本にはやはり無理があります。どこかを手厚くすればどこかが泣くことになります。思いがけず、事業仕分けの対象となり、泣いているところがあるのです。出来るだけ多くの人が幸せに暮らしていけるような改革を進めていただきたいとだれもが思っているでしょう。

ワールドカップでは、あまり前評判のよくなかった日本チームですが、チームワークと今までの練習の成果で、素晴らしい感動を与えて下さいました。日本の社会も、1人ひとりと、地域のつながりを大事にしていくべきと思います。

## 平成22年 第3回 臨時議会

## 議 案 質 疑

### 議案第30号

【財団法人高萩市住宅公社の改革にかかる基本方針の策定について】

高萩市住宅公社の経営健全化のためには、このまま存続させられない。国で制定した第三セクター等改革推進債を活用し、住宅公社を破産、解散することになった。市長は、住宅公社の事業を受け継いだ道義的責任を取ること、市長給与の7月分1カ月を30%カットする条例改正を提案してきた。

**質問** 住宅公社、土地開発公社について、私は10年前から解散すべきだと言ってきたが、今回ようやくそれが成立することになる。国からの通達では、三セク債を用いての償還は基本的には10年となっているが、高萩市の現在の財政ではとても無理だということで、15年、18年といった、長期償還を要望すると書かれている。夕張市は別として、実際に10年以上のものが実例としてそういう自治体はあるのか？高萩市が国・県に要望して必ず認められるという保証はないと思うが、どうか？

**市長答弁**▶ 18年で何とか国にお願いしていききたいと思っている。昨年の10月に総務大臣にお願いしに行き、3月には総務次官の方にお願ひしに行った。今後もし難航しそうなら、自ら出て行って強く要望していききたい。見込みと言うよりは、何とかお願いしたいと思っている。

**総務部長答弁**▶ 21年度に大阪府の松原市で15年償還が認められている。

**質問** 引き継いだ責任をとるため、市長の給与聞き下げを実施するということだが、それはどの程度、どのくらいの期間でお考えなのか？また、議会も償還期間だけでも何か協力していかなければならない。

**市長答弁**▶ 責任としては、任期中は引き続き給与削減をしていく。もう1点、6月議会で提案しているが、1ヶ月間計30%のカット\*をしていききたいと思っている。

### 結 果

市長給与カット条例改正案については、反対多数で否決。

\* 現在、行政健全化をしているので、すでに13%はカットになっている。30%カットにするには、プラス17%カットするだけということになる。

## 平成22年6月定例議会

## 一 般 質 問

**子育て支援の在り方について**

**質問** 子育て支援を掲げるなら、他の市町村で何をやっているかということに目をむけ、高萩市として何を取り入れていくべきか、何ならできるか、財政状況との兼ね合いもあるが、考えていくべきである。

**① 中学生まで医療費無料化**

東京都内や、全国でも取り入れているところが多い。実際に中学生まで医療費無料化を高萩市がとり入れた場合、負担がどれくらい増えると予想されるのか？小学校も高学年以降になれば、体力もついてきて、それほど医療機関にかかることはなくなるから、仮に中学生まで無料化したとしても、小さい子の医療費負担の金額ほどはないかもしれない。手の届く範囲かもしれない。就学前まではすでに無料化になっていて、さらに今議会で県の政策で小学3年生まで引き上げられる。もし、それでも、やはり負担が大きく、今の高萩市では難しいというのなら、小学4年生以上に関しては、通院は自己負担、入院のみ市が負担するとか。そういう方法もとれる。そうした時の負担しなければいけない金額はどれくらいか？

**市民生活部長答弁**▶ 医療費を小学1年生から6年生まで無料化した場合の負担は2000万円程度。

**② 小児科医の確保**

神栖市では、医師確保事業として、市内の30の医療機関、すべてにおいてどんな科目でも補助金を出す。高萩市でも、今は小児科は2か所しかないので、今後のことを考えて、補助金を出すのは協同病院に対してだけでなく、将来的に小児科医を確保するために、市が取り組んでいくべきではないか？

**健康福祉部長答弁**▶ 開業医の確保については行政がどこまでできるか、難しい。協同病院には、医師確保のお願いをしている。保護者に対し、普段からかかりつけ医を決めておくこと、早めの診療なら一般内科でも可能ということなど、乳幼児健診などの際に、親教育につとめていきたい。

**③ 給食費の無料化**

大子町で行われているが、高萩市に導入した場合どのくらいの負担になるか？全額負担でなくても、半額負担とか、2人目以降は無料にするとか、やり方は考えられるのではないか？

**教育部長答弁**▶ 給食費の無料化した場合、小中学校の生徒合わせて2500名、その他関係職員等180名の分の費用として、1億2400万円程度。

**後日報告より 現在の給食費**

	小学生・・・3,800円/月	中学生・・・4,400円/月	その他、市負担の必要経費を含め
21年度歳入額	1740人×11カ月	885人×11カ月	約1億2380万円
	約7,250万円	約4,220万円	
20年度歳入額	1,752人×11カ月	873人×11カ月	約1億2380万円
	約7,350万円	約4,170万円	

全額負担となるとかなり額が大きいので、大子町を見習うことは出来ないかもしれない。一方、全国の他の地域で、第二子以降を無料化する制度をとっているところがあるので、そういうやり方も検討できるのではないだろうか。

**④ 子育て中の民間賃貸住宅入居者に対する家賃の補助**

これも、大子町でやっていること。子どもが1人の家庭には家賃の10%を補助、2人の家庭には15%というように、子どもの人数に応じて家賃の負担をするというのも一つの支援策だが、どうか？

**総務部長答弁**▶ 民間住宅借り入れに伴う家賃の補助は、まだ検討していない。今後調査を進めていきたい。

### ⑤ 中学校入学祝金

大子町では、「中学校入学祝金」として、1人当たり3万円くれることになっている。小学校に上がる時より実際お金がかかるのは、制服などが必要になる、中学校にあがるときなので、金額的に少しでもいいから検討できないか？

答弁なし

### ⑥ インフルエンザの予防接種費用の補助

無料が望ましいが、無理なら、せめて一人1000円負担で、**医療機関へは行かずに学校で希望をとって、集団接種すればどうか？** 予防接種はなるべく多くの人にやってもらった方が、全体的な流行を防げるし、すでにかかっている人が診察に来ている医療機関に行って、うつってくるかもしれないと心配するより、学校へ来ていただく方が安心だと思う。

**健康福祉部長答弁▶** 助成金は、財政状況をみて対応する。実施方法は、学校行事の兼ね合いや接種医師の確保など、難しいところもある。予防接種をしたあとの副反応が出た場合、医療機関で接種した方が速やかに処置できるので、個別で対応していきたい。

### ⑦ 「次世代育成クーポン」の導入

東京都日の出町では、「次世代育成クーポン」というのを子ども一人当たり月1万円配布している。クーポンで市町村内の商店での買物、幼稚園や保育園の保育料、給食費の支払いなどが可能。市の活性化にもつながるこの制度、年間1万円とか2万円分程度でもいい、市内の商店だけで、スポーツ用品店で体操服を買ったり、本屋さんで本を買ったり、子どものために使えるようにすればいい。検討できないか？

答弁なし

## 質問できなかったいろいろな子育て支援の紹介

自治体名	子育て支援策
千代田区	次世代育成住宅助成…中3までの児童がいる子育て世帯に月10,000円助成
中央区	出産祝い品…区内共通買い物券30,000円支給 出産支援タクシー券助成…タクシークーポン30,000円分
文京区	自転車用ヘルメット購入助成 認可保育園第3子以降無料
台東区	にぎやか家庭応援プラン…第3子以降の子どもについて、出生時、小中学入学時に3万円相当の祝い品を支給 弱視等治療用メガネ助成 自転車用ヘルメット無償配布
北区	子育て福袋配布…育児支援ヘルパー利用券、一時保育利用券が入っている。ファミリー世帯住み替え家賃助成…区内民間賃貸住宅に住んでいるファミリー世帯がより広い民間賃貸住宅に転居する場合、家賃差額を3年間助成。
板橋区	すくすくカード事業…無料利用券で育児支援メニューを利用できる。一時保育利用券、ヒーリングコンサート券、ベビーマッサージ、リトミック、産後フィットネス講座など20の中から選べる。

### 吉川の 考察▶

全国の市町村において少子高齢化は問題になっているので、子育て支援策はどこでも取り入れられている。単発で、どこでもやっているようなことをやっても、なかなか魅力を感じてもらえないのが現状だと思う。東京都23区の中には、上記のように、いろいろ工夫された子育て支援をやっていて、そういうアイデアを見習ってどんどん検討してほしい。一時保育利用券などは、大きな金額がかかるわけではないが、少しの自分の時間を確保できなくて、育児ノイローゼになりそうなときに使ってほしいもの。それを無料配布することで、「利用してみたいけど、踏み出せない」という状態を後押しして、お母さんたちの応援をすることになると思う。今、高萩市に出来ることは何か？ということはいくつか選んで、「高萩市子育て支援策」として、どんと打ち出していけるように考えていくべきである。

## 企業誘致について

**質問** 以前から、ある企業と話し合い中のまま進展していない。そろそろ他の企業も検討していただきたい。何もそこに固執することはない。今、高萩市としては、この土地を売ることが一番の財政確保の手段、雇用の最善策。22年度内に線を引き、他の企業も検討していただきたい。時期を逸して結局無理となれば市長の責任もかかってくる。

**市長答弁▶** 昨年度は8回交渉を行った。平成18年から交渉しているが、世界的な不況もある中、企業もなかなか業績が上がらないのが実情。信頼関係を築きながら交渉を進めたい。ご指摘を踏まえて、今しばらく交渉企業と全力で取り組んでいきたい。

## 総務委員会 行政視察 兵庫県 小野市

行政視察は、議員の旅行だから不要だという意見も出ておりましたが、今回の小野市のようなところを視察してみると、そうではない、全く「百聞は一見に如かず」、素晴らしい街づくりを目の当たりにして、意識を新たにしていきました。ちょうど、テレビの取材も来ており、私たちが小野市を視察しているところが放映されました。

6月東京で行われた「都市経営セミナー」、全国の市長や議員などを対象としたセミナーで「都市自治体の財政健全化」をテーマに開催されました。そのセミナーで小野市長は「小野市の行財政開改革への取組み」について事例発表をされたそうです。民間企業出身の小野市長は、民間ノウハウを生かした経営戦略で成果を上げています。民間の良さ、官の良さを行政経営に反映させ、見える成果を出す仕組み作りトップのリーダーシップが不可欠という発言をしています。

少数精鋭で業務を遂行している小野市。市長の考えでは、職員の意識改革が必須だということです。「こんなはずではなかった21世紀、従来の価値観が全く変わっている。厳しい競争に打ち勝って入庁してきた公務員をいかにしてやる気のある集団にしていくか、そしていかに成果と報酬が連動する仕組み、システムを構築していくかということが最も重要である。**リーダーとは「構想力」と「決断力」に尽きる。**」とブログで書かれています。また、他の市長から「議会对策で苦労されていることは？」と質問を受け、「議員の方々を説得するのではなく、**納得していただくように、情報を包み隠さず提供することです。**迎合する必要はありませんが、**議員協議会などでトップ自らがきっちり説明することです。**」と答えたそうです。

「カンブリア宮殿」という番組・・・大物政治家がコメンテーターとして出ているときに、しかも、この不況下でも業績を上げている優良企業の経営者と同様に取り上げられている地方の市長は、小野市の蓬莱市長だけでした。

本当に、素晴らしいところに視察に行かせていただいてよかったと改めて、思いました。テレビで映った、高萩市議団の最初の「すごいですねえ」は、あのテレビの一瞬だけ見ていると一体何がすごいのかよくわかりませんが、実は、あの時は「小野市うるおい交流館」の多目的ホールを見たところだったのです。約500席のホール（近畿で3本の指に入るくらい素晴らしい音響設備を備えている）と、サークル室、会議室、託児室などを備えた建物で、大きくて、明るくて本当に素晴らしいものでした。そこは、市民の披露宴会場としても使われるそうです。



本当は、副市長等との会議のシーンが見てもらえるとよかったのですが、残念ながらその場面は映されませんでした。そのほかにも様々な点において、勉強すべきところがあり、大変参考になりました。今は、インターネットなど情報収集が簡単になり、遠くのこともよくわかるようになりましたが、やはり行ってみると、実際に自分の目で見て、耳で聞いてくるのがどんなに大切かと思えます。受ける刺激が違います。行政視察をただの「議員の親睦旅行」のように思われ、不要だという方もいますが、やみくもに反対するのではなく、「見るべきところは見る」必要があります。ご理解していただきたいと思えます。

### 吉川の 考察▶

住宅公社の解散については、長年、私が言い続けてきたことがやっと実現するかという感じでした。塩漬け土地を早く何とかしないと、負担はどんどん大きくなるばかりなのです。今回その悪循環にストップがかかった感じです。今、赤浜工業団地のTK2について、企業誘致をしています。一般質問でも言ったとおり、**わずかな期待にかけて、時間をどんどん費やしていることが私としてはとても気になります。**市長は、「信頼関係を築いて、時間をかけて交渉したい」と言いますが、それが最後に裏目に出てしまえば大変なことです。少し視野を広げていくべきでないかと考えます。

子育て支援について、他の市町村で行っている施策をいろいろ提案してみましたが、あまりいい反応ではなかったような気がします。どんどん人口が減っている高萩市。新規企業が無く、新しく職を求めるのはあまり期待できませんから、若い人を呼ぶためには、何が必要か？それが子育て支援策だと思います。活気あふれる街づくりを望むのなら、子育て支援を充実させ、若い人が住みたいと思う町に出来るよう考えていくべきだと私は思います。

今後とも、市長の推奨する「萩っ子」が生き生きと育てる高萩市となるよう、いろいろな面から意見していきたいと思っております。